



広い心

学校便り 6号
令和7年 6月18日
宮古島市立 狩俣小学校
発行者：校長 喜屋武真史

宿泊学習で自然体験(5, 6年生)



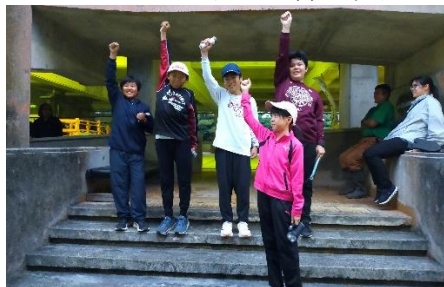
6月5日(木)～6月6日(金)の日程で、5, 6年生の宿泊学習を県立宮古青少年の家にて実施しました。今回の宿泊学習は初めての試みとして、砂川小学校5年生と合同での実施となりました。入所式の後に、まず、アイスブレイクとして佑弥先生リードによるレクを行いました。レクの中でお互いを知ることができ、その後一緒に行ったグランドゴルフでは、親しみを込めて名前呼び合う子供たちの姿がありました。

1日目の午後には、ものづくり体験として「焼き杉クラフト」を行いました。杉の板に下書きを描く工程は学校で済ませており、下書きに沿ってボンドを付け、その上からカラーの砂をのせていきました。悪戦苦闘しながらも集中して制作活動に取り組む中、「むずい、むずい(難しい)」を連呼していた勝成さんから、「焼き杉クラフトじゃなくて、むずすぎクラフトだよ～」という名言も生まれました。※上手に仕上げていました。

野外炊飯では、薪を使ってカレーライスづくりに挑戦しました。「指導員の説明がしっかり聞けたこと」「自分の役割に責任が持てたこと」「助け合い協力できたこと」で、おいしいカレーライスが出来上がりました。ちなみに、真菜さんのおじいさまから牛肉をいただき、牛肉ゴロゴロの贅沢なカレーで美味しかったです。

2日目、あいにくの天候のため予定していたシーカヤックは実施できませんでしたが、砂川小学校のプールでカヤック体験をさせていただき、子供たちも楽しむことができました。

1年生として狩俣小に入学してから、これまで学んできたことを生かしていきいきと活動する5, 6年生には安心感があり、とても誇らしく思いました。何よりも嬉しかったのは5名の5, 6年生がとても仲が良いことです。これからも深めた絆を大切に良い時間を過ごしていってほしいですね。



ビーチクリーン活動(3, 4年)



6月11日(水)、3, 4年生の総合的な学習の時間でビーチクリーンがありました。教室で学んだことをもとに実践編です。梅雨明けで気温も上がる中、地域の海岸をきれいにしようと一生懸命ごみを拾う姿がありました。ちなみに、左の写真がスタートの様子で、中の写真が活動後です。狩俣の美しい海を守る活動を通して、環境問題について深く考えてくれるといいですね。指導してくださった池間加奈子さん、春川京子さん本当にありがとうございました。

